

## 2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月15日

上場会社名 岡本硝子株式会社

上場取引所 東

コード番号 7746 URL <https://ogc-jp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートサービス本部長 (氏名) 阿部 裕 TEL 04-7137-3111

定時株主総会開催予定日 2019年6月29日 有価証券報告書提出予定日 2019年7月1日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	6,078	5.0	331	55.9	271	154.3	186	123.3
2018年3月期	5,790	8.4	212	43.9	106	61.4	83	93.1

(注) 包括利益 2019年3月期 88百万円 (16.5%) 2018年3月期 76百万円 ( 21.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	8.21	8.20	8.3	3.7	5.4
2018年3月期	4.14	4.13	4.7	1.5	3.7

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 57百万円 2018年3月期 42百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	7,572	2,340	30.9	101.21
2018年3月期	7,272	2,185	30.0	96.18

(参考) 自己資本 2019年3月期 2,340百万円 2018年3月期 2,184百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	397	631	209	717
2018年3月期	72	409	512	744

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		0.00	0.00			0.0
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			0.0
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,980	6.6	10	94.7	60		25		1.08
通期	6,270	3.1	260	21.5	125	54.0	115	38.4	4.97

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	23,126,440 株	2018年3月期	22,715,040 株
期末自己株式数	2019年3月期	750 株	2018年3月期	710 株
期中平均株式数	2019年3月期	22,761,316 株	2018年3月期	20,222,131 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	6,028	5.9	232	21.0	227	87.8	267	
2018年3月期	5,690	8.4	192	60.5	121	65.3	26	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	11.74	11.73
2018年3月期	1.30	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	6,892	2,375	34.5	102.72
2018年3月期	6,406	2,082	32.5	91.66

(参考) 自己資本 2019年3月期 2,375百万円 2018年3月期 2,082百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 企業集団の状況	3
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国では、個人消費と設備投資が堅調であることから景気の拡大を続けており、ヨーロッパ地域では、ドイツで景気の足踏み状態になりつつも全体としては緩やかに回復し、中国では、景気は緩やかに減速するとともに、米国との貿易摩擦が懸念材料となっております。日本経済は、堅調な個人消費により、景気は緩やかな回復基調を続けております。

プロジェクター市場は、一部に低調さも現れており、当社グループの反射鏡およびフライアイレンズへの需要は、2018年10月以降、サッカーワールドカップ需要の反動などにより弱含みとなっております。

2018年2月に受託生産を開始した多層膜蒸着技術によるガラス容器への加飾蒸着は、当期に入り順調に生産量を増加させております。

2018年12月に国立研究開発法人海洋研究開発機構へ契約総額200百万円の海底設置型の長期モニタリング装置(江戸っ子1号365型6機)を納入いたしました。

この結果、当期の連結業績は、売上高6,078百万円(前期比5.0%増)、経常利益271百万円(前期比154.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益186百万円(前期比123.3%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①光学事業

当連結会計年度の売上高は3,513百万円と前期と比べ233百万円(6.2%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は752百万円と前期と比べ38百万円(5.4%)の増益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前期比で3.8%減少し、売上高は7.9%減少いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前期比で5.1%減少し、売上高は3.8%減少いたしました。

2017年11月に再稼働したフライアイレンズを生産する本社工場(千葉県柏市)のガラス溶融炉1基での生産が順調に立ち上がったことにより、製造コストは低減いたしました。

#### ②照明事業

当連結会計年度の売上高は789百万円と前期と比べ3百万円(0.4%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は26百万円と前期と比べ20百万円(324.1%)の増益となりました。自動車分野の固体光源用レンズの売上高が増加いたしました。

#### ③その他

当連結会計年度の売上高は1,775百万円と前期と比べ524百万円(41.9%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は73百万円と前期と比べ112百万円(前期のセグメント損失は39百万円)の増益となりました。江戸っ子1号を主力製品とした海洋・特機、ガラス容器への加飾蒸着、銀ミラー(Hi-Silver®)、洗濯機用ドアガラス及びフリット(ガラス粉末)の売上高が増加いたしました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (イ)資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ272百万円の増加となりました。この主な要因は仕掛品が328百万円増加したことなどによるものであります。

有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ31百万円の増加となりました。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ106百万円の増加となりました。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ111百万円の減少となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度に比べ299百万円の増加となりました。

#### (ロ)負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ907百万円の増加となりました。この主な要因は、1年以内返済予定の長期借入金が1,184百万円増加し、仕掛金及び買掛金が122百万円減少し、短期借入金が200百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ764百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が799百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度に比べ143百万円の増加となりました。

#### (ハ)純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ155百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が186百万円増加したことなどによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ26百万円減少し、717百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金は397百万円増加(前連結会計年度は72百万円増加)しました。税金等調整前当期純利益235百万円(前連結会計年度は101百万円)、減価償却費450百万円(前連結会計年度は331百万円)などの増加要因に対し、たな卸資産の増加額311百万円(前連結会計年度はたな卸資産の増加額55百万円)、仕入債務の減少額120百万円(前連結会計年度は仕入債務の減少額21百万円)などの減少要因がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金は631百万円減少(前連結会計年度は409百万円減少)しました。有形固定資産の取得による支出563百万円(前連結会計年度は400百万円)などの減少要因がありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金は209百万円増加(前連結会計年度は512百万円増加)しました。長期借入れによる収入1,100百万円などの増加要因に対し、短期借入金の純減額200百万円、長期借入金の返済714百万円などの減少要因がありました。

### (4) 今後の見通し

2020年3月期連結会計年度において、自動車向けレンズ製品、海洋探査機などの海洋・特機は、売上高の減少を予想していますが、フリット(ガラス粉末)、ガラス容器への加飾蒸着により売上高の増加を予想しています。開発期間が長く、売上高計上時は粗利率が高い製品の売上高の減少、ITシステム更新による償却費増、人件費の増加などにより、営業利益は減少を予定しています。政策保有株式について、売却による縮減を進める方針です。

これらにより、2020年3月期の連結業績につきましては、売上高6,270百万円、営業利益260百万円、経常利益125百万円、親会社株主に帰属する当期純利益115百万円を見込んでおります。

## 2. 企業集団の状況

当社グループは、当社、連結子会社(新潟岡本硝子株式会社、蘇州岡本貿易有限公司及び岡本光学科技股份有限公司)、持分法適用関連会社(JAPAN 3D DEVICES株式会社)の計5社で構成され、特殊ガラス及び薄膜製品の製造販売を主な事業の内容としております。

当社グループの事業に係る位置付け及びセグメントとの関連は、次のとおりであります。

なお、セグメントと同一の区分であります。

#### (1) 光学事業

プロジェクター用反射鏡、フライアイレンズ、デジタルシネマ用映写機の反射鏡、自動車用赤外線透過フィルターなどの製造及び販売を行っております。

<主な関係会社>

岡本光学科技股份有限公司、蘇州岡本貿易有限公司、新潟岡本硝子株式会社、JAPAN 3D DEVICES株式会社

#### (2) 照明事業

自動車用ヘッドレンズ・フォグレンズ、一般用照明用ガラス製品などの製造及び販売を行っております。

<主な関係会社>

岡本光学科技股份有限公司、蘇州岡本貿易有限公司

#### (3) その他

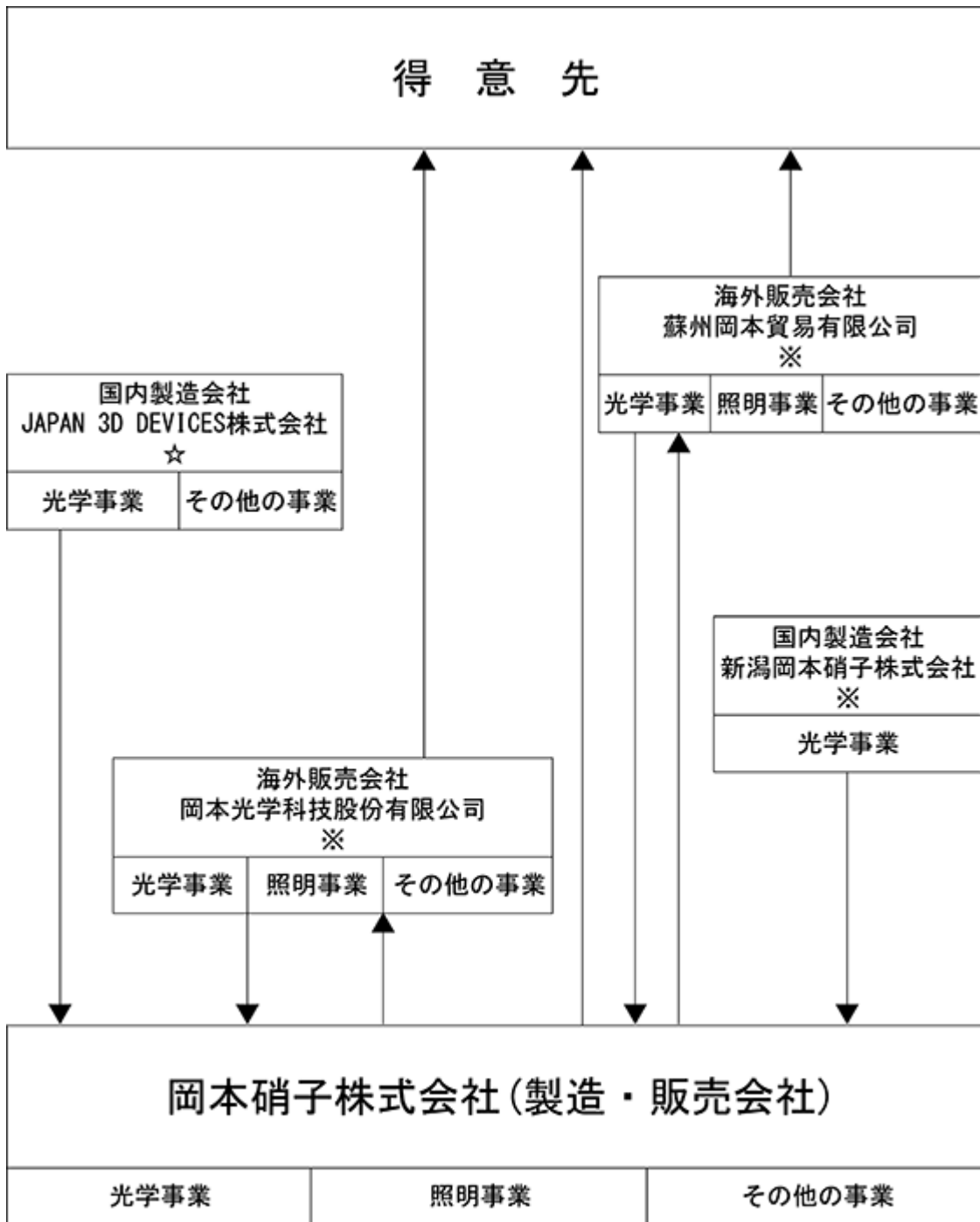
デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、フリット、機能性薄膜などの製造及び販売を行っております。

<主な関係会社>

岡本光学科技股份有限公司、蘇州岡本貿易有限公司、JAPAN 3D DEVICES株式会社

〔事業系統図〕

以上述べた事実を事業の系統図によって示すと次のとおりであります。



—————▶ 製品・半製品 ※印は、連結子会社 ☆印は、持分法適用関連会社

### 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 4. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	744,414	724,387
受取手形及び売掛金	1,341,891	1,349,162
商品及び製品	385,943	366,305
仕掛品	667,895	996,874
原材料及び貯蔵品	79,146	81,279
その他	93,934	68,157
貸倒引当金	-	-
流動資産合計	3,313,226	3,586,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,651,121	3,702,938
減価償却累計額	△2,514,884	△2,611,017
建物及び構築物(純額)	1,136,237	1,091,920
機械装置及び運搬具	4,467,780	4,224,382
減価償却累計額	△3,318,066	△3,207,174
機械装置及び運搬具(純額)	1,149,713	1,017,208
工具、器具及び備品	1,131,375	985,479
減価償却累計額	△1,071,108	△887,774
工具、器具及び備品(純額)	60,267	97,704
土地	703,014	703,014
リース資産	652,879	450,725
減価償却累計額	△342,045	△239,434
リース資産(純額)	310,834	211,290
建設仮勘定	143,184	413,263
有形固定資産合計	3,503,252	3,534,401
無形固定資産		
その他	8,854	115,477
無形固定資産合計	8,854	115,477
投資その他の資産		
投資有価証券	323,248	212,227
その他	124,408	123,741
投資その他の資産合計	447,656	335,969
固定資産合計	3,959,763	3,985,847
資産合計	7,272,990	7,572,015
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	498,299	376,062
短期借入金	324,000	124,000
1年内返済予定の長期借入金	597,130	1,781,668
リース債務	62,846	60,656
未払金	200,764	236,593
未払法人税等	28,304	57,381
賞与引当金	41,160	75,438
設備関係支払手形	58,107	8,419
その他	92,119	90,272
流動負債合計	1,902,732	2,810,491



固定負債		
長期借入金	2,587,295	1,788,047
リース債務	279,543	243,077
繰延税金負債	31,427	23,195
退職給付に係る負債	227,130	292,843
資産除去債務	45,572	47,767
その他	14,186	25,979
固定負債合計	3,185,155	2,420,912
負債合計	5,087,888	5,231,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,444,474	2,477,986
資本剰余金	683,069	716,581
利益剰余金	△1,037,538	△850,715
自己株式	△421	△429
株主資本合計	2,089,583	2,343,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,277	27,751
為替換算調整勘定	38,373	35,546
退職給付に係る調整累計額	△548	△54,819
繰延ヘッジ損益	-	△11,290
その他の包括利益累計額合計	95,103	△2,812
新株予約権	415	-
純資産合計	2,185,101	2,340,611
負債純資産合計	7,272,990	7,572,015

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	5,790,967	6,078,943
売上原価	4,260,961	4,260,528
売上総利益	1,530,006	1,818,415
販売費及び一般管理費		
役員報酬	90,545	91,273
給料及び手当	357,222	411,463
賞与	21,021	30,713
賞与引当金繰入額	12,952	23,946
退職給付費用	12,306	13,647
減価償却費	40,841	46,338
旅費及び交通費	47,652	45,432
支払手数料	90,867	109,111
運賃	89,249	81,374
研究開発費	186,001	214,037
その他	368,945	419,921
販売費及び一般管理費合計	1,317,606	1,487,260
営業利益	212,399	331,155
営業外収益		
受取利息	314	291
受取配当金	5,082	3,752
為替差益	-	27,324
助成金収入	25,306	20,502
業務受託料	15,033	10,035
その他	11,848	7,432
営業外収益合計	57,584	69,338
営業外費用		
支払利息	56,248	54,182
為替差損	32,991	-
シンジケートローン手数料	19,108	9,634
持分法による投資損失	42,098	57,459
その他	12,774	7,685
営業外費用合計	163,221	128,962
経常利益	106,762	271,531
特別利益		
固定資産売却益	536	4,138
投資有価証券売却益	-	11,162
国庫補助金受贈益	-	6,000
特別利益合計	536	21,300
特別損失		
固定資産除却損	3,375	42,659
固定資産売却損	2,192	-
減損損失	-	9,295
固定資産圧縮損	-	5,734
特別損失合計	5,568	57,688
税金等調整前当期純利益	101,730	235,143
法人税、住民税及び事業税	18,070	48,320
法人税等合計	18,070	48,320
当期純利益	83,660	186,823

親会社株主に帰属する当期純利益	83,660	186,823
-----------------	--------	---------

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	83,660	186,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,342	△29,526
為替換算調整勘定	3,408	△2,827
退職給付に係る調整額	△25,107	△54,270
繰延ヘッジ損益	-	△11,290
その他の包括利益合計	△7,356	△97,915
包括利益	76,303	88,907
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	76,303	88,907

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,095,307	333,902	△1,121,199	△421	1,307,589
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	349,167	349,167			698,334
親会社株主に帰属する当期純利益			83,660		83,660
自己株式の取得				0	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	349,167	349,167	83,660	0	781,994
当期末残高	2,444,474	683,069	△1,037,538	△421	2,089,583

	その他の包括利益累計額					新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	繰延ヘッジ損益	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	42,935	34,965	24,558	—	102,459	—	1,410,048
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)							698,334
親会社株主に帰属する当期純利益							83,660
自己株式の取得							0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,342	3,408	△25,107	—	△7,356	415	△6,940
当期変動額合計	14,342	3,408	△25,107	—	△7,356	415	775,053
当期末残高	57,277	38,373	△548	—	95,103	415	2,185,101

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,444,474	683,069	△1,037,538	△421	2,089,583
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	33,512	33,512			67,024
親会社株主に帰属する当期純利益			186,823		186,823
自己株式の取得				△7	△7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	33,512	33,512	186,823	△7	253,839
当期末残高	2,477,986	716,581	△850,715	△429	2,343,423

	その他の包括利益累計額					新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	57,277	38,373	△548	—	95,103	415	2,185,101
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)							67,024
親会社株主に帰属する当期純利益							186,823
自己株式の取得							△7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△29,526	△2,827	△54,270	△11,290	△97,915	△415	△98,330
当期変動額合計	△29,526	△2,827	△54,270	△11,290	△97,915	△415	155,509
当期末残高	27,751	35,546	△54,819	△11,290	△2,812	—	2,340,611

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	101,730	235,143
減価償却費	331,673	450,191
減損損失	-	9,295
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△369	34,278
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,738	11,443
受取利息及び受取配当金	△5,396	△4,044
支払利息	56,248	54,182
為替差損益 (△は益)	△109	-
持分法による投資損益 (△は益)	42,098	57,459
固定資産売却損益 (△は益)	1,655	△4,138
固定資産除却損	3,375	42,659
国庫補助金受贈益	-	△6,000
固定資産圧縮損	-	5,734
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△11,162
売上債権の増減額 (△は増加)	△306,380	△9,664
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△55,298	△311,557
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,800	△120,552
その他の資産の増減額 (△は増加)	△29,356	8,433
その他の負債の増減額 (△は減少)	4,285	24,808
小計	132,079	466,510
利息及び配当金の受取額	5,396	4,044
利息の支払額	△57,027	△54,102
法人税等の支払額	△8,018	△19,216
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,428	397,236
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,400	△6,001
定期預金の払戻による収入	3,600	-
投資有価証券の取得による支出	△7,318	△7,629
投資有価証券の売却による収入	-	34,595
有形固定資産の取得による支出	△400,444	△563,984
有形固定資産の売却による収入	599	4,606
無形固定資産の取得による支出	-	△95,211
国庫補助金による収入	-	6,000
貸付金の回収による収入	201	204
その他の支出	△3,608	△3,916
投資活動によるキャッシュ・フロー	△409,370	△631,337
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	△200,000
長期借入れによる収入	300,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△858,261	△714,710
新株予約権の発行による収入	3,838	-
株式の発行による収入	694,911	66,608
自己株式の取得による支出	△0	△7
リース債務の返済による支出	△57,234	△63,123
セール・アンド・リースバックによる収入	329,480	20,772
財務活動によるキャッシュ・フロー	512,733	209,540
現金及び現金同等物に係る換算差額	△815	△2,066

現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	174,976	△26,628
現金及び現金同等物の期首残高	569,437	744,414
現金及び現金同等物の期末残高	744,414	717,786



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、プロジェクターなどの電子機器に組み込まれるガラス製部品の製造販売に関する光学事業及び照明用ガラス製品の製造販売に関する照明事業を主力に事業展開をしております。

したがって、当社は「光学事業」、「照明事業」の2つを報告セグメントとしております。

「光学事業」は、プロジェクター用反射鏡、フライアイレンズ、デジタルシネマ用映写機の反射鏡、自動車用赤外線透過フィルターなどの製造及び販売を行っております。

「照明事業」は、自動車用ヘッドレンズ・フォグレンズ、一般照明用ガラス製品などの製造及び販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表の作成方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,746,465	793,341	4,539,807	1,251,160	5,790,967
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,746,465	793,341	4,539,807	1,251,160	5,790,967
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	713,713	6,202	719,916	△39,295	680,621
セグメント資産	4,105,218	660,593	4,765,812	1,183,483	5,949,295
その他の項目					
減価償却費	239,634	25,450	265,085	52,862	317,947
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	355,013	4,271	359,284	25,116	384,400

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工、ガラス偏光子、太陽光発電ガラス部品などを含んでおります。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,513,374	789,906	4,303,280	1,775,663	6,078,943
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,513,374	789,906	4,303,280	1,775,663	6,078,943
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	752,444	26,300	778,744	73,505	852,250
セグメント資産	4,382,334	565,659	4,947,993	1,347,237	6,295,231
その他の項目					
減価償却費	337,516	10,855	348,371	86,093	434,465
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	164,390	549	164,939	220,408	385,348

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、フリット(ガラス粉末)、銀ミラー(Hi-Silver®)、ガラス容器への加飾蒸着などを含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,539,807	4,303,280
「その他」の区分の売上高	1,251,160	1,775,663
セグメント間取引消去	-	-
連結財務諸表の売上高	5,790,967	6,078,943

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	719,916	778,744
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△39,295	73,505
全社費用(注)	△468,221	△521,095
連結財務諸表の営業利益	212,399	331,155

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,765,812	4,947,993
「その他」の区分の資産	1,183,483	1,347,237
全社資産(注)	1,323,694	1,276,784
連結財務諸表の資産合計	7,272,990	7,572,015

(注) 全社資産は、主に親会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	265,085	348,371	52,862	86,093	13,725	15,726	331,673	450,191
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	359,284	164,939	25,116	220,408	9,746	207,224	394,147	592,572

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主にセグメントに帰属しない自動車、ネットワークサーバー及びソフトウェアの購入であります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	光学事業	照明事業	計			
減損損失	9,295	-	9,295	-	--	9,295

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	96円18銭	101.21円銭
1株当たり当期純利益	4円14銭	8円21銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	4円13銭	8円20銭

(注1) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	83,660	186,823
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属 する当期純利益(千円)	83,660	186,823
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,222	22,761
潜在株式調整後1株当たり当期純利 益		
親会社株主に帰属する当期純利益 調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	36	32
(うち新株予約権(千株))	(36)	(32)
希薄化効果を有しないため、潜在株 式調整後1株当たり当期純利益の算 定に含めなかった潜在株式の概要		—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。